

## 情報モラル教育実践授業報告書

対象学年	中学校1年
領 域	道徳
指導項目	C－(10) 遵法精神, 公德心

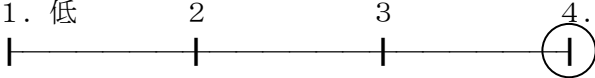
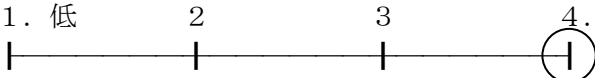
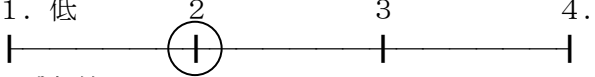
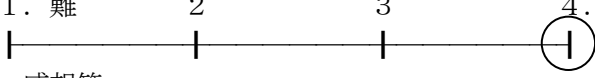
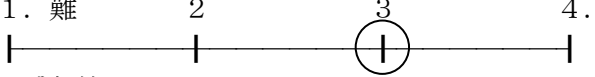
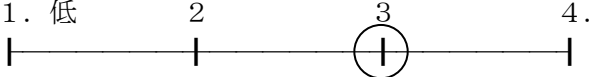
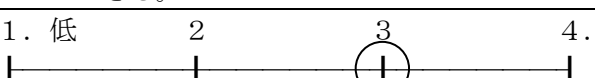
情報モラル指導モデルカリキュラム ( <a href="http://kayoo.org/moral-guidebook/model/model-curriculum.html">http://kayoo.org/moral-guidebook/model/model-curriculum.html</a> )			
指 導 分 野	情報社会の倫理		
コ ー ド	a4-1	指 導 事 項	情報社会における自分の責任や義務について考え, 行動する。

授業前の生徒の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット利用の幅が広がり, 私生活において個人情報を取り扱うような場面が出てくる時期である。</li> </ul>
生徒の心理的成長過程に応じた指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生の時期には, 小学校での学習や経験から, 「規則・きまりとしてのルール」と「礼儀・作法としてのマナー」の意味や「ルールやマナーを守らなければいけないこと」を理解している生徒が大半である。しかしながら, SNS のコミュニケーションになると無秩序になりがちな現状があり, 生徒による SNS でのトラブルは後を絶たない。</li> <li>本実践では, グループでの話し合い活動を行い, さまざまな見方や考え方を知り, ルールとマナーについて多面的・多角的に考えさせることで, それらは「自他の権利や自由を守るものであること」を深く考えさせる。</li> </ul>
期待される生徒の変容 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネット社会におけるルールとマナーについて考え, 適切なコミュニケーションのとり方を判断することができる。</li> </ul>
生徒の変容を促すための授業の工夫 (ポイント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報モラルに関わる題材を扱いながら, 自他の権利を大切に, 世の中の秩序と規律を高めていこうとする道徳的心情を育む。</li> <li>登場人物の言動を振り返り, ルールとマナーの意義を考える活動を取り入れることで, 生徒の生活実践につなげる。</li> </ul>
利用するコンテンツ等 (サイトのアドレス) または資料等	「ルールとマナー」 中学道徳1 とびだそう未来へ (教育出版)

<事後アンケート>※自由記述

- ・自分や他人が気持ちよく生活するためにルールやマナーを守って生活することが大切だと思いました。
- ・ルールやマナーをきちんと守って、みんなが安心して生活できるようにしていきたい。
- ・ルールやマナーは、人がお互いに気持ちよく生活する上で、とても大切なことであると感じました。
- ・世の中のルールやマナーを守れるようにしていきたい。
- ・自分が知らない間に人を傷つけたりしていないか、迷惑をかけていないかなどを確認して、ルールやマナーを守っていけるとよいと思います。
- ・他人を傷つけず、自分も快く生活することを意識するとよいと思います。
- ・ルールやマナーをしっかり守り、他の人に迷惑をかけないように生活することが必要だと思いました。
- ・普段の生活での当たり前を理解して、一つ一つのルールやマナーを守ることを少しでも意識して生活するとよいと思いました。
- ・自分や他の人に迷惑や損害が出ないようにするためにもルールを理解して生活することが大切だと思いました。
- ・相手を傷つけないように意識して生活するとよいと思いました。
- ・SNSは人を傷つけるためにあるのではなく、楽しく話し合うためにあるのだと思う。
- ・マナーを守り、人のことを考えて、社会のルールを守り、迷惑をかけないように生活するとよい。
- ・他人に嫌悪感を与えたり、迷惑なことをしたりしないようにして、決められたルールやマナーを守ることを意識して生活するとよいと思います。
- ・人の気持ちを考えて、よいことと悪いことを判断する。
- ・ルールやマナーを守っていかないことでトラブルが起きることもあるので、しっかり守っていきたいです。
- ・自分や他人が嫌な思いをしないために、ルールやマナーを意識して生活することが大切だと思いました。
- ・みんながルールやマナーを守ると、みんなが気持ちよく生活できるので、お互いに守れるように意識して生活するのがいいと思う。
- ・相手や周りの人のことを考えて、ルールやマナーを守って生活する。
- ・ルールは守り、マナーはすすんで取り組んで、みんなが気持ちよく楽しく生活していけるように意識していく。
- ・知らない間に人を傷つけてしまったり、迷惑をかけてしまったりするかもしれないから、ルールやマナーを意識して、協力して良い生活を送れたらよいと思います。
- ・ルールやマナーがなかったら、私たちの生活は混乱してしまうと思うから、多くの人を守れるように、一人一人がルールやマナーの意味を理解して生活する方がよいと思った。
- ・人と接するときは、相手が嫌な気持ちにならないように、ルールやマナーに配慮する。
- ・ルールやマナーはないと人を傷つけたり、困らせたりしてしまうことだから守った方がいいけれど、完璧に守ることに難しさもあると思う。












# 評価


生徒について	生徒の興味・関心の度合い	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 インターネット上のコミュニケーションについて具体的な事例を扱っている資料で、実感が湧きやすい内容である。
	生徒の理解度	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 ネット社会におけるルールやマナーの大切さについて、日頃から意識の高い生徒が多い様子であったため、内容理解も深まり、活発な意見交換がされた。
	生徒の変容の度合い	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 自己の振り返りでは、ルールの必要性やマナーの重要性について述べている生徒は多かったが、自他の権利や自由を守るものであることを実感している生徒は、一部の生徒であった。
授業について	事前準備の難易度	1. 難                      2                      3                      4. 易  理由・感想等 本実践ではワークシートなどを使用したが、教科書に記入欄が設けられているので、授業者の裁量で準備を簡素化できる。
	指導者にとっての授業展開の難易度	1. 難                      2                      3                      4. 易  理由・感想等 扱いやすい内容の教材だが、ルールやマナーについて考えるのか、インターネットの利用について考えるのかというバランスが難しい。
	授業の「ねらい」の達成度	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 互いに過ごしやすい社会を築くために、ルールやマナーが必要であるということを実感させつつ、情報社会における望ましい過ごし方について考えさせることができる。
	指導方法の効果の度合い	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 本実践では登場人物の言動を振り返ったり、ルールやマナーの意義について考えたりする場面でグループでの話し合いを行うことで、ルールとマナーについて多面的・多角的に捉えさせることができた。

## <実践の感想及び反省点等>

資料の内容が、生徒の経験と重なる部分もあり、理解が得られやすかった。道徳的心情を育みつつ、情報モラルに関する判断力を身に付けさせることができた。情報モラルに限らず、日常のルール・マナーにも精通する内容であるため、学校生活や私生活を見直させたいときに実施するとよいと感じた。

# 実践例

配当時間	学習のすすめ方	指導のポイント						
導入 12分	<p>1 「ルールとマナーの違うところ、似ているところ」を一口意見カードに記入する。</p> <div data-bbox="293 362 691 663" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>一口意見カード</p> <p style="text-align: center;">記入者氏名 ( )</p> <p>ルールとマナーの違うところと似ているところを書きましょう。</p> <p>&lt;違うところ&gt;</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">(ルール)</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">(マナー)</td> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td style="height: 40px;"></td> </tr> </table> <p>&lt;似ているところ&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40px;"></div> </div>  <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="312 714 956 797" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>インターネット利用のルールとマナーについて考えましょう。</p> </div>	(ルール)	(マナー)			<ul style="list-style-type: none"> <li>一口意見カードの内容を教師が発表し、教材への方向付けを図る。</li> </ul>		
(ルール)	(マナー)							
展開 30分	<p>3 教材の範読を聞く。</p> <p>4 登場人物の言動について、話し合う。</p> <div data-bbox="293 902 691 1167" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>道徳「ルールとマナー」ワークシート</p> <p>問1</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">  あおい         </td> <td style="width: 33%; text-align: center;">  ゆう         </td> <td style="width: 33%; text-align: center;">  えま         </td> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td style="height: 40px;"></td> <td style="height: 40px;"></td> </tr> </table> <p>問2</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 40px;"></div> </div>  <div data-bbox="312 1189 1466 1238" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3人（あおい、ゆう、えま）の投稿の何が問題だったのでしょうか。</p> </div> <p>(あおい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>許可を取らずに他人の写真や名前をインターネット上に載せたこと。</li> <li>いじめていた人の名前を出して、印象を悪くするような発言をした。</li> <li>うわさを信じて、問題を大きくした。</li> </ul> <p>(ゆう)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他人のプライベートに関わる内容の話を知ろうとした。</li> </ul> <p>(えま)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>真実かどうか分からない悪いうわさを広げた。</li> <li>心配をあおり、他人の信用を下げるような発言をした。</li> <li>関係のない話題を出して、問題を大きくした。</li> </ul>	 あおい	 ゆう	 えま				<ul style="list-style-type: none"> <li>各発問において、グループの考えをワークシートにまとめたうえで、学級で意見交換をさせる。</li> <li>問題には、さまざまな投稿が起因していることに気付かせる。</li> <li>インターネット上のやりとりに歯止めをきかせる人がいたら、問題は大きくならなかつたかもしれないことを確認させる。</li> </ul>
 あおい	 ゆう	 えま						

展開	5	<p>ルールとマナーの意義について、話し合う。</p> <p>ルールとマナーは、私たちの生活になぜ必要なのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に生きる上で、みんなが安心して生活するため。</li> <li>・他人を傷つけないため。</li> <li>・ルールやマナーを破ることで事件や事故が起きてしまうから。</li> <li>・守らなければならないいきまりがあった方が行動しやすい。</li> <li>・一人一人の人権を尊重するため。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な考えを出すことを目標にして考えさせる。</li> <li>・学級の話し合いでは、各グループの意見を黒板に掲示して比較し、整理しながら指名して発表させる。</li> </ul> 
	6	<p>自分の生活を振り返り、自己を見つめる。</p> <p>ルールとマナーについて、私たちはどのようなことを意識して生活するとよいと思うか、書きましょう。</p> <p>●授業後の自分の考え● 今日の授業でわかったことや最初の考えから変わった部分なども書こう！</p> <p><u>ルールやマナーがなかったら私たちの生活はこんな感じでし</u> <u>まうと思うから、しっかりルールやマナーを多くの人が守れるよ</u> <u>うにみんながルールやマナーの意味をしっかりと理解して生活</u> <u>するほうがよいと思った。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座席配置を戻して、道徳振り返りカードを配付する。</li> <li>・学級の生徒に、自分自身と他人の生活や権利を守るためにルールやマナーがあることを理解させ、正しい判断ができるように心がけてほしいことを伝える。</li> </ul>
まとめ	8分	7	教師の話を聞く。

## 情報モラル教育を広げるための方策と課題

情報モラル教育を広げるための実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月に外部講師を招き、全校集会の形で、情報モラル教室を行うことで、全校への広がりを図った。</li> <li>・本道徳実践を、校内の公開授業とし、他の教師にモデル授業として参観してもらった。</li> <li>・本実践を参考にして、各担任がアレンジを加えて、同様の実践を行った。</li> </ul>
情報モラル教育を広げるための課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校での取組が家庭や地域に広がっていくように、学習内容が生徒の生活に還元されるような工夫が必要だと考える。</li> </ul>